



玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 11
令和7年 2月28日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

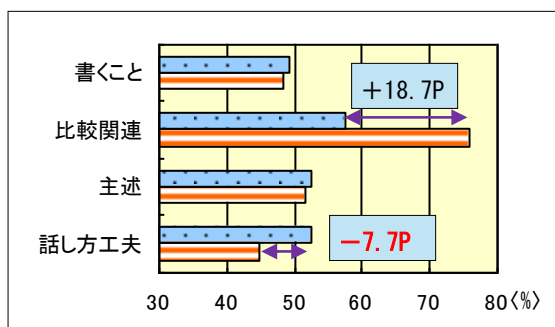
令和6年度 玉川小学校 教育活動報告 成果と課題

雨水の候となつてまいりますが、地域・保護者の皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

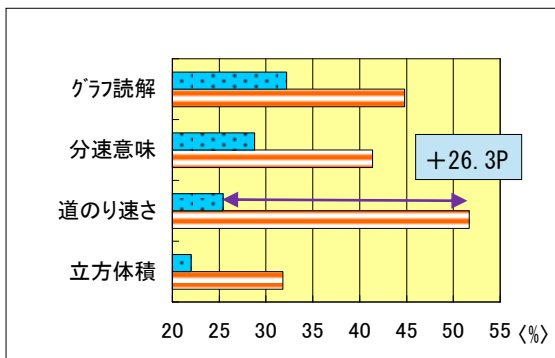
令和6年度における玉川小学校の教育活動の成果と課題について、学力向上・豊かな心の育成の2点から、振り返っていきます。

I 学力の向上

令和6年度「全国学力・学習調査」結果
国語科 4月 プレテスト 12月 ポストテスト



算数科 4月 プレテスト 12月 ポストテスト



上記の国語科のグラフは、問題の中で全国的に学習のつまずきが大きい問題の4月と12月の本校の正答率とその差を示したものです。

成果として、「複数の情報を目的に応じて比較・関連付けて読み取る」比較関連の問題は、18.3(ポイント=P)「向上し、授業改善が進み、学力の定着と伸長が図られている、と言えます。

課題として、「自分の考えを資料を活用して、伝えるように表現する」ことに課題があります。

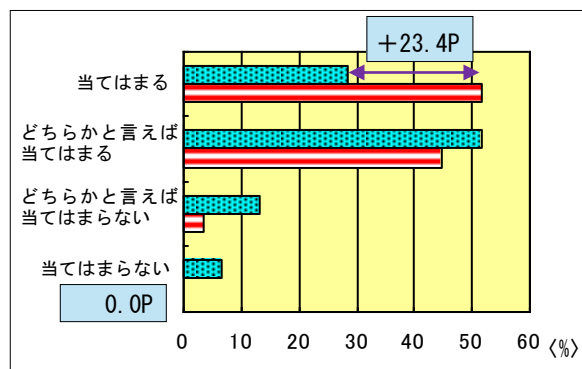
算数科のグラフは、問題の中で全国的に学習のつまずきが大きい問題の4月と12月の本校の正答率とその差を示したものです。

「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて表現する」グラフ読解問題と、分速意味問題は、ともに12.6P向上しました。また、「道のりが等しい倍の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉と数を用いて表現する」問題は、26.3P向上しました。

これらのことから、算数科では授業改善が大きく進み、学力の定着と伸長が図られている、と言えます。

II 豊かな心の育成

下記のグラフは、「地域や社会をよくするために、何をすべきか考えたことがありますか」という質問に対して「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」[%]と回答した児童の4月と12月の割合です。



「豊かな心の育成」では、特に、生活科、総合的な学習の時間等の中で、地域の一員としての自覚をもてるよう指導してきました。

「当てはまる」と回答した児童の割合は、4月と比べ12月は、51.7%で、23.4P向上しています。また、「当てはまらない」と回答した児童は0%でした。「地域や社会に大きな関心をもつようになり、社会貢献への意識が高まった。」、と言えます。

3月の生活目標「学校を綺麗にしよう。」

＜学級での取組＞・協力して清掃をする。

- ・壁など、普段清掃していないところを綺麗にする。
- ・机や椅子、ロッカーの中を綺麗にする。

